

# 株式会社 上森農機

テーマ <ステップ3>

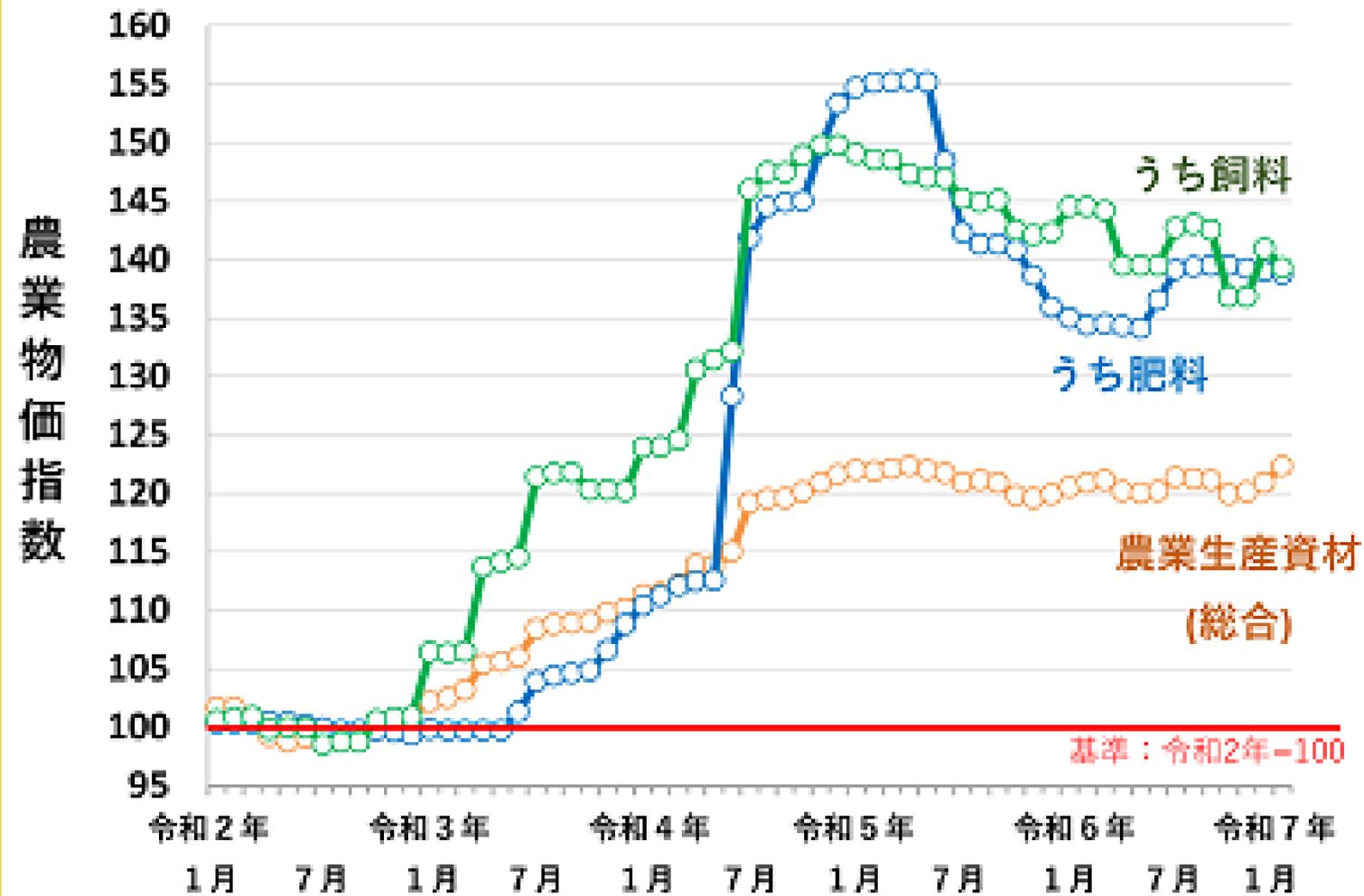
新商品開発による新たな生産拠点の構築と  
新分野進出による需要への対応



- 昭和38年 農機具・農業資材等を販売する『株式会社上森農機商会』設立
- 平成14年 果樹生産部門(たかみ農園)を立ち上げ、マイヤーレモンの栽培を開始
- 平成22年 マイヤーレモンを使った調味料等の食品加工を開始
- 令和5年 前代表・上森健造(当時72歳)高齢化に伴い、代表者変更(田中高美・42歳)
- 令和5年 桜葉の生産に着目、静岡県松崎町にて地元企業より桜葉栽培の研修を受ける  
研修後、自社園地にて桜葉栽培を開始
- 令和6年 引き続き静岡県松崎町にて、桜葉栽培研修
- 令和7年 初収穫実施 令和8年出荷開始予定

# 市場動向と顧客ニーズ 1

物流コストや原料価格高騰により、農業資材価格も高騰



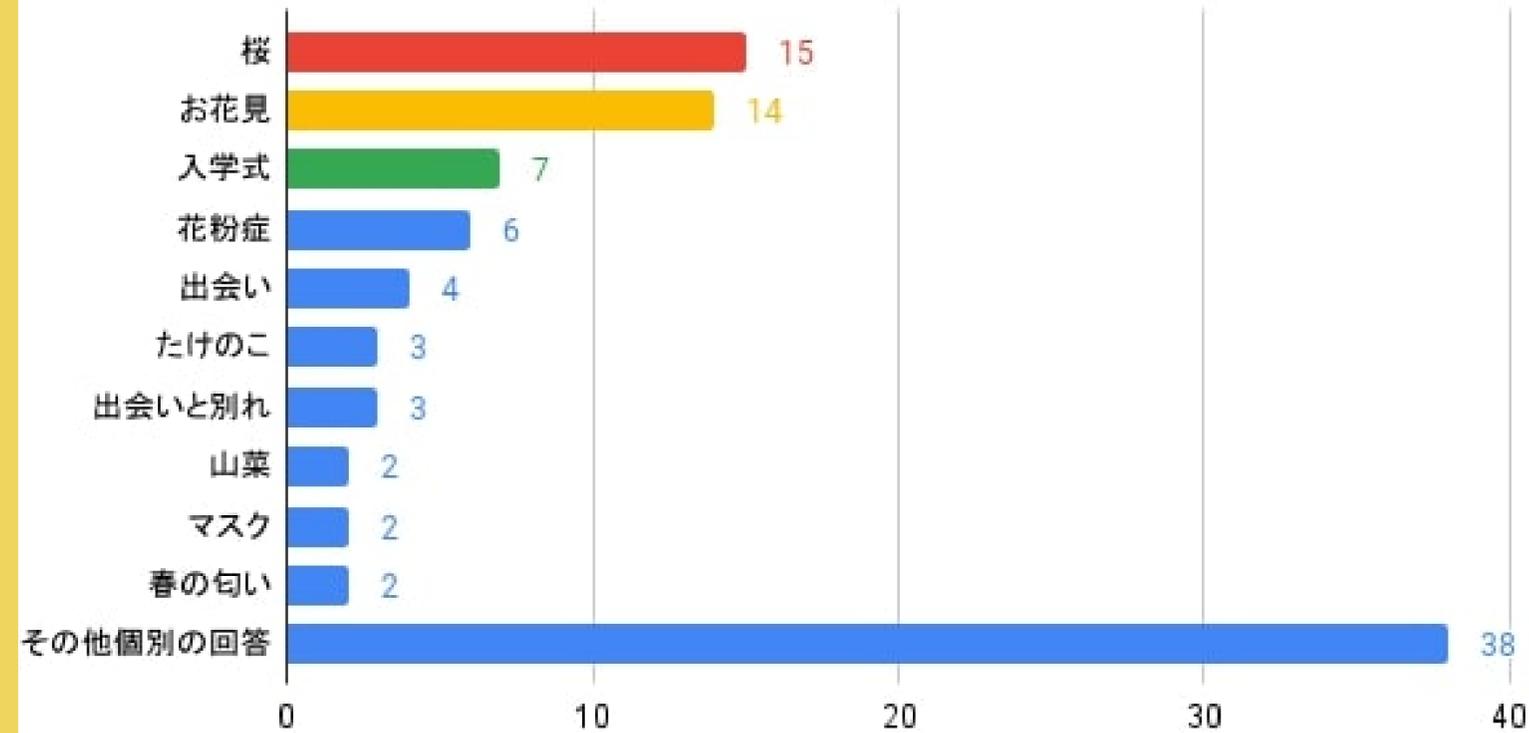
出典：農林水産統計（農業物価指数）

自社を含め業界全体を取り巻く動向については、物流コストや原料価格高騰に伴い、輸入依存度の高い肥料や飼料が40ポイント上昇したことで農業生産資材全体が25ポイント弱も上昇。三重県御浜町で生産されるマイヤーレモンは年間220トンで全国1位。（JA調べ令和5年度時点）市販レモンに比べ、まろやかな酸味と果汁が多く含まれ、貴重な品種であり当町のみかんに次ぐ新たな柑橘類として、使用用途も多岐にわたりスイーツやドレッシングなど、食品業者や消費者ニーズが高い。

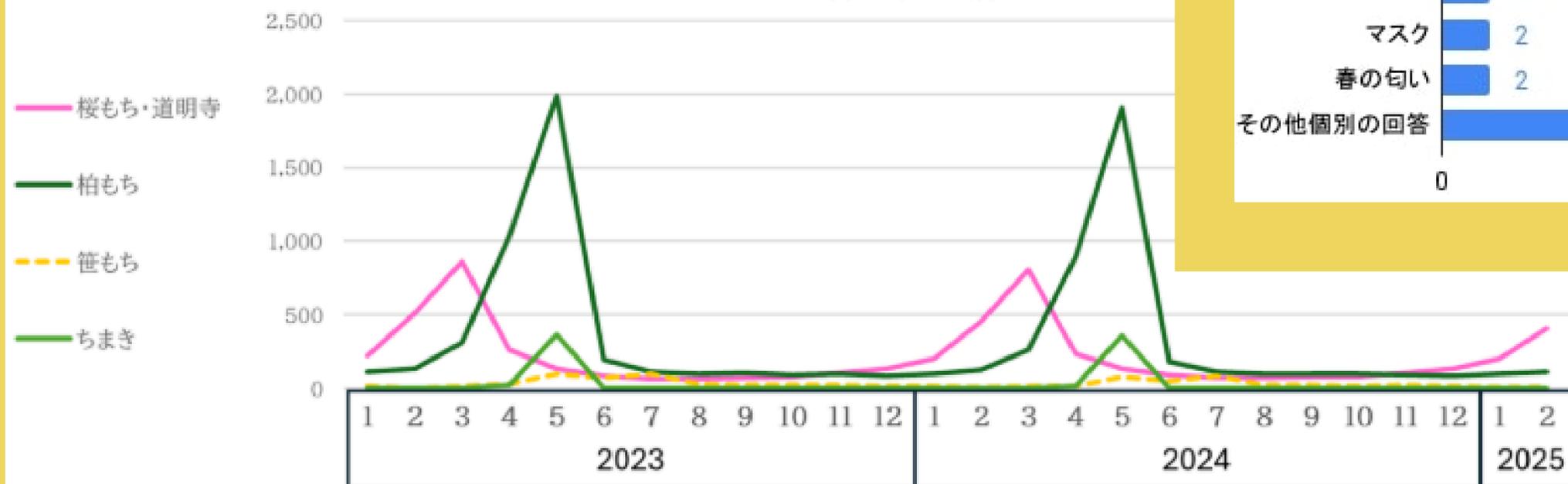
# 市場動向と顧客ニーズ 2

春といえば思いつくもの(n=100)

to-ieba.com



和菓子  
(千人当たり金額)



桜とお花見の回答を合わせると**29票**となり、**全体の約3割**を占めるほどの回答数。  
春はお花見や桜をイメージする人が多い。  
国内産は静岡県松崎町に限定され桜葉を採取する担い手の**高齢化**が進んでいる。

# 取り組み内容 1



図①



図②



図③



図④

桜葉の使用例として、上記図の桜餅（図①）の他にパウダーとしての商品（図②）、パウダーを使用した飲料（図③）、栽培地域の観光土産（図④）として使用されている。

採取

塩漬け

洗浄・殺菌

冷蔵

選別  
仕分け

出荷・販売

※桜餅等に使用する桜葉は塩漬け。  
パウダーに使用する桜葉は洗浄・殺菌

加工

出荷までの工程 加工体制の整備 加工・出荷のための建物は確保しているものの、上図の加工を行える環境になっていない。  
また、冷蔵保存が出来る体制にもなっていない。  
防腐や防カビの観点から温度・湿度を一定に保つことも必要であるが、その様な体制になっていない。  
以上のことから加工が行える様に環境を整え、かつ冷蔵保存が出来、防腐や防カビの観点から温度・湿度を一定に保つことが出来る様に設備を導入することが必要である。  
また、出荷に関しては春先に集中するため、その点への対応も課題である。

## 取り組み内容 2



図①



図②



図③



図④

鉄骨工事・防水塗装・備品設置工事を依頼。

又、設備業者に電気工事を依頼、室内環境の温度や湿度ほか衛生管理として有害物質やホコリの除去をはかり快適な作業空間を確保する事で不安材料が解消され加工環境が整う。

1階部分（図①）を「塩漬け」、「殺菌・消毒」、「冷蔵」、「選別・仕分け」が行える様に改装工事を行う。

2階部分（図②）は商談室に使用し、「香りづけ」、「防腐・抗菌作用」、「リラックス・鎮静作用」といった桜葉の効用、パウダー、パウダー飲料への使用などの実物を見せながら説明し、商談成立のために活用する。

冷蔵庫（図③）を導入する。米袋21袋の容量があり、冷蔵保存に十分な温度や結露対策が可能になる。

建物内の温湿度管理設備（図④）を2基導入する。業務用の大型エアコンであり、加工スペースの温度・湿度を一定に保ち、防腐や防カビ効果対策が行えるようになる。

# 効果



## 既存事業

(現状)マイヤーレモン収穫・販売サイクル												
月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
マイヤーレモン 収穫・販売	← 販売 →								← 収穫 販売 →			

## 新規事業



(新事業)桜葉収穫・販売サイクル												
月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
桜葉 収穫・販売	← 枝の剪定 →			← 採取 選別 洗浄 加工 →				← 販売 →				

桜葉の採取は**自社が閑散期にあたる4月から8月下旬まで**行われ、株ごとに最大250枚の葉が採取される。その際に商品化に適する葉形や大きさを検品、サイズごとに手作業にて分類、枚数ごとに丁寧に束ね、鮮度保持が品質に大きく影響するため、収穫後に加工場の特注容器にて塩漬けをおこなう。枝の選定から半年以上の期間を要して商品化。

**マイヤーレモンの閑散期に桜葉の採取・選別・洗浄・加工を行うことで業務の平準化を図ることが可能となる。**さらに、**雇用の創出**にもつながる。

地方銀行フードセレクション他商談会に積極的に参加してマイヤーレモンとともに、桜葉も御浜町のブランド化を目指していきたい。

## 取り組んだメリット

経営計画を作成することで、現状の課題及び計数分析による将来的な数値目標を立てる事で、必要な資金計画及び今後の需要予測等を見込み、経営の可視化と目標の共有が社内で図られ、新たな販路開拓にあたり生産性を高める事で自社の進むべき方向性を把握した。

又、新たな事業展開の取り組みにあたり、本計画を基に県の補助金申請を行い、事業採択を受ける事ができ、先ずは入口のステップを踏める事が出来ました。

## 今後の展望

マイヤーレモン栽培で培ったノウハウ及び新規就農者を取り、園地拡大とマンパワーを活かした『桜葉』の生産で通年稼働・供給できる体制の構築をはかり、自社プロットフォームを拡大、既存販路BtoBからBtoCにも注力、新たな売上拡大をはかり産地化の推進。

尚、『桜葉』は静岡県が主要産地であり自社は後発ではありますが御浜町産『桜葉』として、みかんやマイヤーレモン同等の付加価値の高い商品を全国消費者に提供したと考えている。

## 支援商工団体からのコメント

今回、支援をさせて頂きました事業所につきましては、地域活性化のロールモデルとして、衰退する柑橘業界を牽引し、新規の国産レモン品種『マイヤーレモン』を日本一の生産量と知名度を押し上げた立役者であり、現在『就農サポート』リーダーとして、新規就農者等の後進育成にも注力を注いでいる。

新規事業としてマイヤーレモン生産で培ったノウハウ及び販路を活用、長年の課題でもあった繋閉期を活用した新たなビジネスプランに向けた事業計画書のサポート支援を実施しました。

また、株式会社上森農機さんは、創業者の先々代から商工会の会員であり、現代表は兵庫県出身の娘婿で三代目となります。

積極的に青年部活動や地域行事にも参画、又、首都圏エリア商談会も率先して参加を頂き、全国的に販路開拓に取り組むなど、商工会を活用して頂いているなか、互いに意思疎通もはかる事ができスムーズにご支援させていただくことが出来ました。

みえ熊野古道商工会（御浜支所）

商工会支援担当：主幹経営指導員 植地裕之